

患者番号





＜入院診療計画書＞  
前立腺全摘除術を受けられる

様へ

山梨大学医学部附属病院

号室

主治医( ) 担当医( ) 病棟師長( ) 担当看護師( ) 担当管理栄養士( )

病名:	症状: 手術当日 / 予定時刻( : ) 予定術式:小切開 / ロボット支援下 前立腺全摘術				
	入院当日～手術前日 /	(手術前)	(手術後)	手術翌日～尿道カテーテル抜去まで (手術後1週間程度)	尿道カテーテル抜去～退院日
説明	医師から手術についての説明があります。看護師が病棟の案内と手術前準備、手術後の注意点などを説明します。手術の前日(月日)の14時以降に麻酔科の受診があります。(月曜日が手術の方は金曜日に受診になります) 手術必要物品:T字帯2～3枚、腹帯2～3枚 尿とりパット	入室準備 手術着に着替え、弾性ストッキング、T字帯をつけます。腹帯は看護師に渡してください。時計、入れ歯、メガネ、ネックレス、コンタクトレンズ、補聴器など身につけているものは外してください。手術室に入室したら、リストバンドを見せ、名前を名乗ってください。			尿漏れの量を確認するため排尿日誌を記載します。記載方法は看護師が説明します。尿漏れ予防・改善のため骨盤底筋体操について説明します。退院後の注意点について説明します。詳しくは別紙参照してください。
処置	手術前日にお臍をキレイにする処置を行います。 	( )時に浣腸があります。	異常がないか判断するため、血圧や脈拍、尿量などの測定をします。		造影検査を行い問題がなければ尿管が抜けます。
排泄		手術の30分前に排尿を済ませてください。	尿管が挿入されているので、尿は自然に流れます。尿意が強く苦痛があれば、看護師に伝えてください。	医師の指示があるまで尿管が挿入されています。	尿漏れに対しては尿取りパットを使用してください。
内服・点滴	持参薬の確認をします。手術前日(月日)の日中に下剤を2時間程度かけて内服します。消灯前には錠剤の下剤の内服があります。	麻酔科医師より指示があれば手術前に内服をする場合があります。	医師の指示があるまで点滴が続きます。点滴の部位が腫れたり痛みがある場合は教えてください。ボタン式の痛みどめが始まりますが使い方は看護師が説明します。内服は中止になります。	医師の指示があるまで点滴が続きます。内服再開は医師の指示に従ってください。	
食事	夕食まで食べられます(必要時、低残渣食になることがあります。その際は間食を控えて下さい)。麻酔科の指示の時間(月日時)より絶食となります。	( )時から水分の摂取もできません。( )時に内服を行います。	食べたり飲んだりすることはできません。 	医師から飲食の許可があれば、朝から飲水や食事が開始となります。	特に制限はありません。
清潔	手術後は医師からの許可があるまで入浴ができませんので手術前日は入浴を行ってください。	入浴はできません。		看護師がタオルで身体を拭きます。	医師の許可があればシャワーを浴びることができます。
行動範囲	特に制限はありません。	特に制限はありません。	医師の指示があるまで起きることはできません。寝返りをうつことはできます。	手術の翌朝から歩行可能となります。手術後、初めて起き上がる場合は、管が多く、抜けてしまうことを防ぐため、看護師が付き添います。	特に制限はありません。

お断り:スケジュール通りに進まない場合もあります。そのときは医師や看護師から説明があります。

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地

山梨大学医学部附属病院 泌尿器科 TEL:055-273-1111

特別な栄養管理の必要性 (あり・なし)  
病室入り口への氏名表示に(同意する・同意しない)  
服薬指導の依頼を(する・しない)

年 月 日  
患者または代理氏名( )

平成28年12月改訂